

小田村・尼崎市町会関係文書概要

- 1: 文書群番号 089008
- 2: 文書群名 小田村・尼崎市町会関係文書
- 3: 出所 杭瀬第十七区
- 4: 家業・役職等 杭瀬区第十七分区（道場免・大崩・古樋地区）委員、杭瀬衛生組合衛生部長、国民精神総動員実行委員、杭瀬防護分団員、杭瀬軍人後援会軍事扶助委員、在郷軍人会尼崎市北部連合分会長
- 5: 地名 兵庫県川辺郡小田村杭瀬／尼崎市杭瀬／尼崎市杭瀬北新町ほか
- 6: 行政区分 小田村／尼崎市
- 7: 歴史 杭瀬は小田村の南部・左門殿川の西岸に位置する。大正期ごろから工場地帯として発展する一方、住宅地も多く、杭瀬から今福にかけて東西にのびる杭瀬商店街がある。
昭和10年（1935）、官界の経歴を持つ有吉実が尼崎市長に就任したことから、小田村と尼崎市の合併が実現し、翌年2月合併覚書が調印され、4月1日をもって両市村を廃し、その区域をもって尼崎市が設置されることになった。これにより杭瀬も尼崎市の大字となった。5月3日全市を一選挙区として市会議員選挙が選挙が実施され、新市会で有吉市長が再選された。
- 8: 伝来 杭瀬第十七区委員・駒井卯三郎氏が作成した当文書群は、古書籍商を経由して平成元年（1989）11月に史料館が購入、14年1月に整理・目録作成を完了した。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 264点（目録件数251件）
- 11: 年代 昭和10年（1935）～14年
- 12: 構造と内容 本文書群は、小田村と尼崎市が解消合併した昭和11年（1936）前後の時期の行政文書・市配布物等で構成されている。この史料群は当時杭瀬第十七区の区委員であった駒井卯三郎氏が作成したファイルで、市村合併関係・衛生関係・区行政関係・軍事扶助関係・選挙関係・市公報等からなっており、書簡1点を除くこれら263点は簿冊に一綴されていたと思われる。尼崎市公報は、合併時の1号から昭和14年2月号までが号外も含め比較的まとまって残っている。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 坂江 愛